

＜平成 28 年度春季大会シンポジウム企画＞
三陸沿岸における水産業の復興と新たな水産人材育成
— 3 大学連携三陸水産研究教育拠点形成事業の成果と今後の展望—

日時・場所：平成 28 年 3 月 26 日(土) 10:00 – 17:00 東京海洋大学品川キャンパス

企画責任者：田中教幸（岩手大三陸水研セ）・東海 正（海洋大）・菅野信弘（北里大海洋）

10:00–10:10 趣旨説明 田中教幸（岩手大三陸水研セ）

I. 森、川、海の変化と保全

座長：荒川久幸(海洋大院)

10:10–10:35 1. 集水域・河川・河口域での生態系調査について

竹原明秀(岩手大人社)

10:35–11:00 2. サクラマスを活用した市民参加型モニタリング

佐々木 剛(海洋大院)

II. 復興に向けた新たな増養殖技術の開発と普及

座長：阿部周一(岩手大三陸水研セ)

11:00–11:25 1. 三陸における魚介類の増養殖と技術開発

梶原昌五(岩手大教育)

11:25–11:50 2. 三陸におけるクエの閉鎖循環式養殖について

遠藤雅人(海洋大院)

11:50–12:15 3. シロザケ稚魚の健苗生産に向けた腸内細菌研究

清水恵子(北里大海洋)

12:15–13:15 休憩（昼休み）

III. 新たな食品加工素材・加工技術の成果と活用

座長：小川廣男(海洋大)

13:15–13:40 1. 三陸沿岸に求められる水産食品製造の技術革新

三浦 靖(岩手大農)

13:40–14:05 2. 岩手県産ワカメのブランド化に寄与する基礎研究

菅野信弘(北里大海洋)

14:05–14:30 3. 岩手県産水産加工品の開発・商品化を目指した技術研究

鈴木 徹(海洋大院)

IV. 出口を見据えたマーケティング戦略の展望

座長：緒方武比古(北里大)

14:30–14:55 1. 被災企業等に対するマーケット支援・パッケージングデザイン等の支援について

田中隆充(岩手大教育)

14:55–15:20 2. 三陸ブランドの創出と知財戦略について

和泉 充(海洋大院)

15:20–15:30 休憩

V. 水産人材の育成

座長：梶原昌五(岩手大教育)

15:30–15:50 1. 新たな水産人材（水産プロモーター）の育成
セ）

田中教幸（岩手大三陸水研

VI. 総合討論

座長：田中教幸（岩手大三陸水研セ）

15:50–16:50 総合討論

16:50–17:00 閉会の挨拶

和泉 充(海洋大院)

企画の趣旨

2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により、三陸沿岸部は甚大な被害を受けた。岩手大学は、東京海洋大学及び北里大学と連携し、SANRIKU（三陸）水産研究教育拠点形成事業を 2012 年 4 月から推進している。2013 年 4 月、新たに岩手大学三陸復興推進機構釜石サテライト棟を釜石市平田地区に竣工し、同施設内に従来の水産業に科学的根拠に基づく付加価値を加え、水産業の高度

化・水産品のブランド化を目指し、技術者の高度化教育研究や人材育成を行うための「岩手大学三陸水産研究センター」を設置した。本シンポジウムでは、研究成果が今後の研究教育拠点としてどのように結びつか議論するとともに、できるだけ早く研究成果を被災地に普及展開し、衰退する水産業から脱却した魅力ある水産業の確立を目指すものとして開催する。